

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	香取市	代表者名	市長 伊藤 友則		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0478-50-1202		
担当者役職	主査	担当者氏名	奈良 好陽	連絡先E-mail	*****
住所	289-8501 千葉県香取市佐原口2127				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 浩之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体DX推進プロジェクトチームの第4回会議にオンラインで参加いただき、支援・助言をいただいた。前回までの問題の抽出、課題の設定と解決策の提案について、提案書の作成を行った。グループ発表の内容について、アドバイザーから助言いただいた。
アドバイザーへの要望事項	ご支援ありがとうございました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり			
	2023年9月27日	支援・助言	無	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
				9時30分	10時50分	
				活動時間（分）	80	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（自治体DX推進プロジェクトチーム）	18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	これまでの支援で実施した、問題の抽出・課題の整理・解決策の提案について、事業実施・予算確保に向けた説明資料として提案書にまとめる必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	抽出した問題に対する課題・解決策をわかりやすく提案書にまとめる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	事前にまとめた提案書について、解決策が示されていない課題や実運用方法について確認・支援を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	提案書にまとめられていない運用方法等の検討について助言いただいたことで、提案書の作成に向けた整理・深化のポイントを確認できた。また、自治体DXでは、システム導入が目標ではなく「サービスを作っていくこと」を念頭に今後も検討を進めていただきたい旨の話があり、今後の取組みについて改めて確認することができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 自治体DX提案書	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	最後にアドバイザーから話もあったが、システム導入が目的になってしまう傾向があり、何が問題なのか、その問題を解決するための課題は何なのかといった基本的な考えをプロジェクトメンバーに限らず、全職員に浸透させていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	プロジェクトチームによる自治体DX推進の検討は継続し、職員の業務効率化と市民サービスの向上を目指すこととなるが、本年度の目標としては、抽出した問題に対して設定した課題解決手法について、来年度予算化したい。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

